

文化財

大塚（二州小学校）

所在地 八街市山田台1

二州小学校の敷地には、むかし、小間子牧全域を見渡せるような大きな塚があり、そのためにこのあたりは大塚と呼ばれていた。

なお、江戸時代の牧の古地図には「人見塚」の名で記されている。



六ツ塚之碑

所在地 八街市文違301-854

江戸時代に描かれた古地図「佐倉七牧大絵図」には6つの塚と「六塚」の名が記されているが、現在、落人一家が埋められた塚はなくなり、石碑のみがこの哀しい物語を伝えている。



文化財

地価修正記念碑

所在地 八街市八街ほ551-3

明治9年の地租改正の時に、開墾成功までの「鍬下年季」を出願して10年間の地租の軽減を受け、更に同29年までの継続を出願し、許可された。

しかし、明治30年には地価修正を実施しなければならず、図面作成のため、実地測量を行った。測量は非常に手間取り、ようやく明治34年に地価修正が完了した。

これを記念して明治36年に碑が建立された。



七十二町歩開墾成功碑

所在地 八街市文違301-604

明治13年、旧佐倉藩士の小川氏他11名によってこの地域の開墾が始められた。

しかし、開墾ははかどらず、木村氏・清宮氏の手に入った。開墾が開始されてから約40年の月日が費やされた大正時代初期、清宮氏により72町歩（1町歩は約1万㎡）の開墾がようやく完了した。

八街の開墾は、このような多くの苦難を経て成しとげられたものである。

